

永照寺の概要

天台宗の寺院として建立
安土桃山末期(文禄年間)

浄土真宗の念佛道場(お寺)占部 永専坊
として天台宗の寺院に代わって建設。

江戸中期(享保年間)

大御堂山 永照寺となり、25代にて現在に至る。

大御堂山 永照寺の歩み

～お寺ってどんな場所？～

占部地区と永照寺

1563年:三河一向一揆が勃発

1564年:家康側の勝利 で念佛の禁制の地となる。

土呂山 本宗寺(福岡町御堂山)が焼失。

1570年代 :正名町・中村町(渡辺氏)が

占部用水の着工

1583年:念佛の禁制解除

1593—5年:文禄元年～三年:占部永専坊 建立



お寺ってどんな存在だった？

飛鳥時代

寺院(例:比叡山)→朝廷を支える
大学・官僚

平安時代

鎌倉時代

室町・戦国時代

安土桃山時代

江戸時代

明治～昭和時代

現代

淨土真宗の開祖と中興の祖

親鸞聖人



愚禿親鸞

僧に非ず俗に非ず
悪人正機
他力本願

淨土真宗の中興の祖 蓮如



お寺ってどんな存在だった？

飛鳥時代

寺院(例:比叡山)→朝廷を支える
大学・官僚

平安時代

鎌倉時代

室町・戦国時代

安土桃山時代

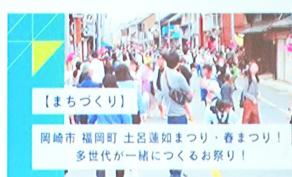
江戸時代

明治～昭和時代

現代

寺院(例:本願寺)→大名・守護
を支える地頭

蓮如まつり



お寺ってどんな存在だった?

飛鳥時代 寺院(例:比叡山)→朝廷を支える大学・官僚

平安時代
鎌倉時代
室町・戦国時代
安土桃山時代

江戸時代
明治～昭和時代
現代

寺院(例:本願寺)→大名・守護を支える地頭

寺院(例:永照寺)→自治体・学校

お寺ってどんな存在だった?

飛鳥時代 寺院(例:比叡山)→朝廷を支える大学・官僚

平安時代
鎌倉時代
室町・戦国時代 寺院(例:本願寺)→大名・守護を支える地頭

安土桃山時代
江戸時代
明治～昭和時代 寺院(例:永照寺)→自治体・学校

現代



6つの村
粕海村(法性寺)
中井村
青野村
合歎木村
占部村
中島村

1. 「寺子屋」教育

■明治以前	上三ツ木	横田 住淳 先生
國正	諫邊 清左衛門	"
正名	野木 斧十郎	"
正名	平井 甚右衛門	"
中村	大山 盛佑	" (文雄氏の孫父)

それぞれの居宅において、「寺子屋」教育が行われていた。



■明治7年4月1日	古木村の「清水義平治」、上三ツ木村の「鶴木平石義門」氏が先生になる。
■明治14年	道字記録の件数 353件 人口 男 860人、女 894人
■明治15年	小学校の登校率により、校名を「尋常小学三ツ木学校」と改める。 尋常科と高等科が置かれる。 尋常科は、上三ツ木、下三ツ木、定国、中村、国正、正名となる。



2. 「三ツ木学校」のはじまり

■明治6年8月28日	上三ツ木の円立寺に「三ツ木学校」ができる。
学校の名前	第40番小学校三ツ木学校
通学区域	上三ツ木、下三ツ木、定国、中村、国正、在家、下福橋、下福橋 *(正名は、第41番小学中島学校(崇福寺))
先生	円立寺の住職 横田 住淳
塾務科目	読書、習字、算術
児童数	5歳10ヶ月より14歳までの30人



■明治28年

古部村大字中に新校舎ができ、開校式があった。
(校舎は、現在の天神社の位置にできた。神社は大正3年に合祀し現在地に)



■明治30年代

校長	横野 久太郎	下三ツ木
	*明治2年4月生	
先生	笠木 勝之助	横井村
	*明治25年11月就任した	
	*明治32年!「古部尋常小学校」の校長となる	
大山 ゆきゑ	中村 永照寺 (文雄氏の叔母、清意氏の孫)	
大山 祐照	中村 永照寺 (文雄氏の父、清意氏の孫)	
野木 伝三郎	正名	
本田 六三郎	野畠	



お寺ってどんな存在だった?

飛鳥時代 寺院(例:比叡山)→朝廷を支える大学・官僚

平安時代
鎌倉時代
室町・戦国時代
安土桃山時代

江戸時代
明治～昭和時代
現代

寺院(例:本願寺)→大名・守護を支える地頭

寺院(例:永照寺)→自治体・学校

現在のお寺は?

こころのふるさと

